

玉野高生徒の手ほどきでペットボトルロケットを飛ばす宇野小児童ら



ペットボトル飛んだ

宇野小で集い

児童、玉野高生がロケット

23日、宇野小で開かれ、水を入れたロケットに児童たちが玉野高生徒の手ほどきで、空気圧と水で飛ばすペットボトルロケットを作った。約20人が参加。同高の授業でロケット作りを学んだ生徒が指導した。炭酸飲料用の1.5リットルペットボトル2本を縦に組み合わせ、ビニールテープで固定。側面に羽根を120度ずつ均等になるように3枚取り付け、好きな色のビニールテープで飾り付けて完成させた。水を入れたロケットに空気を入れて空気を充填させると、勢いよく水を噴射して高く舞い上がり、40メートルほど飛んだ。子どもたちは水の量を調整して飛び方を比

べ、ずぶぬれになりながら何度も挑戦して楽しんだ。

宇野小3年池田祐成君(9)は「少ない水の量が遠くに飛んだ。水がかかると笑顔を見せた。」

宇野地区連合自治会が地域住民のために企画している「うのまちまちづくりの集い」が

グラウンドに出て、

(内田貴大)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。